



みどり市

2011 5月5日
NO.19

議会だより



コノドント館 リニューアルオープン（大間々町）

大間々博物館（コノドント館）は、大間々地域の資料を展示する総合博物館として、昭和63年4月に開館しました。

この博物館の展示室は、大正10年に建築された旧大間々銀行の営業所本館と倉庫を修復したもので、大正期の洋風建築として群馬県内でも有数の貴重な近代化遺産であることから、みどり市の重要文化財にも指定されています。

コノドントは、6億年前から1億8千万年前の岩石に含まれている1ミリにも満たない微化石です。

愛称の「コノドント」は、大間々町在住の研究者・林信吾さんが日本で最初に発見した古生物化石「コノドント」に由来しています。

平成23年第1回定例会（3月）

〈主な内容〉

一般議案・補正予算	2
予算概要	3
請願・意見書	4
施政方針・総括質疑	5～7
委員会報告	8～9
一般質問	10～19
まちの声	20

平成23年度一般会計予算 171億4200万円を可決

副市長人事に同意

3月定例会が2月22日から3月22日までの29日間にわたって開催。平成23年度の各会計予算、平成22年度補正予算などの議案が上程され、慎重審議の結果、原案通り可決・承認されました。

初日は市長の施政方針を初め、議案の提案説明があり、一般質問には15名の議員が登壇し、市政を質しました。

最終日には3月11日発生の東日本大震災による被災者への緊急補助対策に関連した補正予算や、昨年の6月以降空席だった副市長の人事案件が提出され、中澤哲夫氏の選任に同意しました。

審議結果

可決、承認された議案は次のとおり

- ◆ テレビ難視聴対策施設条例
- ◆ 報酬費用弁償支給条例の一部改正（産業区長、農業連絡員、農事支部長）
- ◆ 特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例及び教育委員会教

- 育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部改正
- ◆ 職員の給与に関する条例等の一部改正
 - ◆ 特別会計設置条例の一部改正（老人保健特別会計）
 - ◆ 行政財産使用料条例の一部改正
 - ◆ 障害者自立支援施設条例を廃止する条例（地域活動支援センターの新設）

- ◆ 地域活動支援センターわたらせ条例を廃止する条例（東庁舎へ移転）
- ◆ 小平の里条例
- ◆ わらべ工房条例の一部改正
- ◆ 黒坂石バンガロー・テント村条例の一部改正
- ◆ 手数料条例の一部改正
- ◆ 文化財保護条例の一部改正（文化財専門委員会）
- ◆ 財産の無償譲渡（ながめ公園用地の寄付）

補正予算

- ◆ 指定管理者の指定（特定非営利活動法人はたおと）
- ◆ 渡良瀬川中央地区水管理施設管理協議会の設置
- ◆ 市道の路線廃止
- ◆ 市道の路線認定
- ◆ みどり市議会委員会条例の一部改正（定数20人）
- ◆ 副市長の選任同意
- ◆ 平成22年度一般会計補正予算
- ◆ 同 鉄道経営対策事業特別会計補正予算
- ◆ 同 国民健康保険（事業勘定）特別会計補正予算
- ◆ 同 国民健康保険（診療所勘定）特別会計
- ◆ 同 後期高齢者医療特別会計補正予算

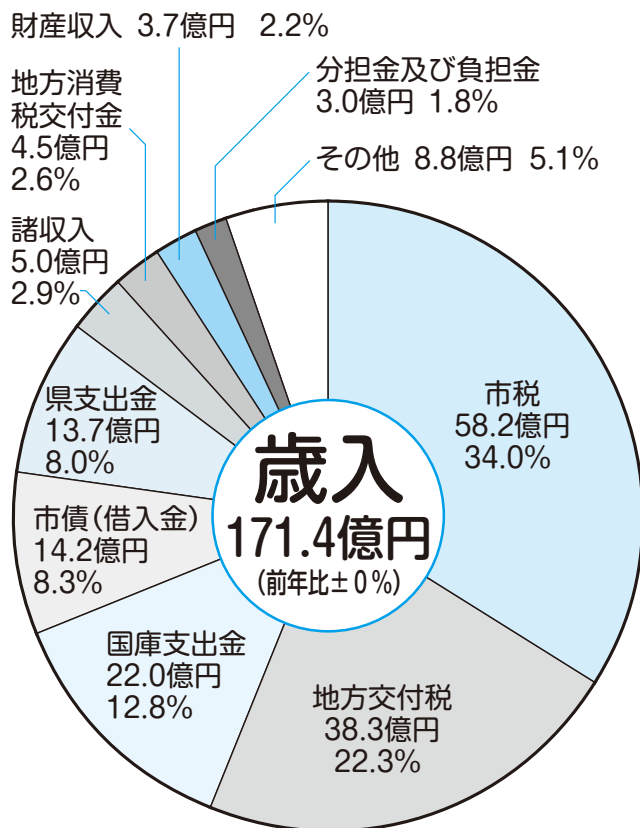
東北地方太平洋沖地震による被災者への緊急対策の補正予算

- ◆ 平成22年度一般会計補正予算
- ◆ 同 農業集落排水事業特別会計補正予算
- ◆ 同 下水道事業特別会計補正予算
- ◆ 同 国民宿舎事業会計補正

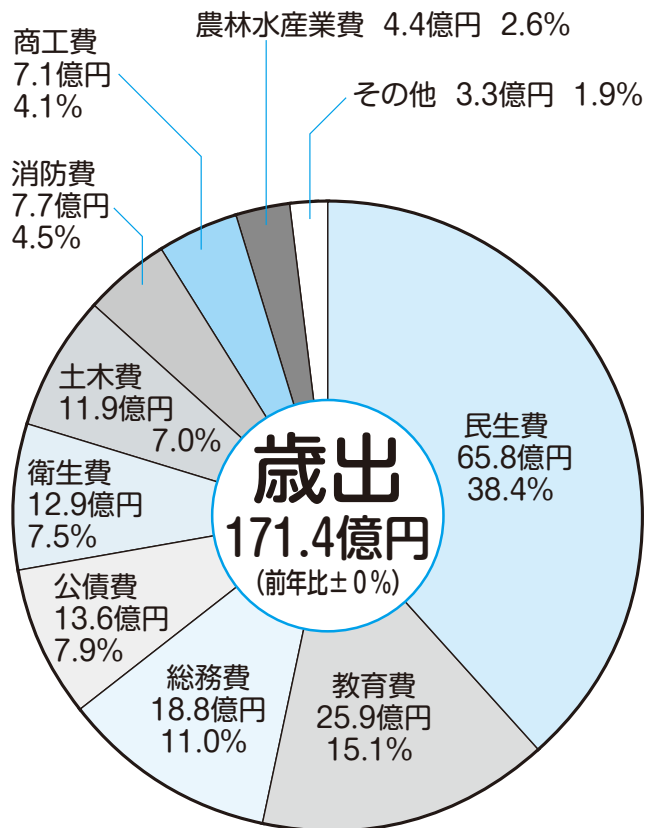
- ◆ 同 介護保険（保険事業勘定）特別会計補正予算
- ◆ 同 介護保険（サービス事業勘定）特別会計補正予算
- ◆ 同 戸別浄化槽事業特別会計補正予算
- ◆ 同 簡易水道事業特別会計補正予算
- ◆ 同 農業集落排水事業特別会計補正予算
- ◆ 同 下水道事業特別会計補正予算
- ◆ 同 富弘美術館事業特別会計補正予算
- ◆ 同 競艇事業特別会計補正予算
- ◆ 同 水道事業会計補正予算

平成23年度 一般会計予算概要

歳入



歳出



平成23年度各種会計のあらまし

会計別	予算額	前年度比
一般会計	171億4200万円	△0.0%
特別会計		
鉄道経営対策事業	1億1805万円	0.2%
国民健康保険(事業勘定)	58億6029万円	0.9%
国民健康保険(診療所勘定)	1億4448万円	△4.3%
後期高齢者医療	4億267万円	3.3%
介護保険(保険事業勘定)	33億6746万円	11.4%
介護保険(介護サービス事業勘定)	1423万円	△12.3%
戸別浄化槽事業	2200万円	△56.7%
簡易水道事業	5221万円	3.0%
農業集落排水事業	6864万円	△5.7%
下水道事業	8億5100万円	△24.6%
富弘美術館事業	3億5052万円	△4.4%
競艇事業	586億5349万円	△18.4%
水道事業会計	13億9142万円	△3.4%

平成23年度予算

- ◆ 一般会計予算
- ◆ 鉄道経営事業特別会計予算
- ◆ 国民健康保険(事業勘定)特別会計予算
- ◆ 国民健康保険(診療所勘定)特別会計予算
- ◆ 後期高齢者医療特別会計予算
- ◆ 介護保険(保険事業勘定)特別会計予算
- ◆ 介護保険(介護サービス事業勘定)特別会計予算
- ◆ 戸別浄化槽事業特別会計予算
- ◆ 簡易水道事業特別会計予算
- ◆ 農業集落排水事業特別会計予算
- ◆ 下水道事業特別会計予算
- ◆ 富弘美術館事業特別会計予算
- ◆ 競艇事業特別会計予算
- ◆ 水道事業会計予算
- ◆ 介護保険(サービス事業勘定)特別会計予算

請願

◆ 地方選挙における候補者に関する情報の充実等を図るための公職選挙法の改正を求める請願書

↓継続審査

◆ 保育所における給食調理の外部搬入を行なわないことを求める請願書

↓不採択

民生福祉常任委員会に付託
本会議↓採択

意見書の要旨

保育所における給食調理の外部搬入を行なわないことを求める意見書

児童福祉施設の給食は「施設内で調理する方法により行なわれなければならない」とされ、児童に提供される給食の安全が確保されてきた。今般、児童福祉施設最低基準の一部改正が行なわれて、保育所の調理

については満3歳以上の幼児に対する食事の提供について、当該保育所以外で調理し搬入する方法により行なうことができる」とことになった。

しかし、この措置は「保育所保育指針」や「食育基本法」「保育所における食育に関する指針」などが指し示す方向と矛盾するものである。かねてより関係者からは、「アレルギー児へ

3月補正予算の状況（緊急対策の補正分除く）

一般会計	補正額	△2億9685万7千円
	補正後の予算額	176億5427万3千円
鉄道経営対策事業特別会計	補正額	△3732万1千円
	補正後の予算額	8072万8千円
国民健康保険（事業勘定）特別会計	補正額	△3億5018万6千円
	補正後の予算額	58億3773万7千円
国民健康保険（診療所勘定）特別会計	補正額	△9万0千円
	補正後の予算額	2億2103万7千円
後期高齢者医療特別会計	補正額	△139万8千円
	補正後の予算額	3億8949万2千円
介護保険（保険事業勘定）特別会計	補正額	1260万8千円
	補正後の予算額	32億0675万7千円
介護保険（介護サービス事業勘定）特別会計	補正額	△145万8千円
	補正後の予算額	1478万1千円
戸別浄化槽事業特別会計	補正額	△3473万0千円
	補正後の予算額	1607万0千円
簡易水道事業特別会計	補正額	△306万6千円
	補正後の予算額	4762万8千円
農業集落排水事業特別会計	補正額	△49万5千円
	補正後の予算額	7160万6千円
下水道事業特別会計	補正額	△6466万0千円
	補正後の予算額	11億6211万4千円
富弘美術館事業特別会計	補正額	△1679万7千円
	補正後の予算額	3億7312万9千円
競艇事業特別会計	補正額	△110億8430万6千円
	補正後の予算額	613億3906万0千円
水道事業会計	補正額	△6223万7千円
	補正後の予算額	14億2864万1千円

第1回（3月）定例会の日程

の細やかな対応ができなくなる」「調理する姿が子どもから見えなくなり、調理中のおいも含めて五感で食を感じられなくなる」「保育士とともに給食内容や調理方法などを検討するなど、給食を保育の一環として取り組むことが困難にな

る」などの指摘がされてきたところである。よって、国においては、全国どこの保育所でも給食の施設内調理によって食育基本法や保育所保育指針に沿った食育の推進が可能となるよう強く要望する。

2月22日 本会議

○ 請願各委員会付託、施政方針

2月28日 本会議

○ 市長提出議案上程

3月1日 本会議

○ 一般質問 5人

3月2日 本会議

○ 一般質問 5人

3月3日 本会議

○ 施政方針への総括質疑

○ 予算特別委員会設置・付託

○ 予算特別委員会（1日）

○ 市長提出議案の質疑・討論・表決

3月7日

○ 議員提出議案への質疑・討論・表決

○ 各常任委員会への付託

3月8日

○ 予算特別委員会（2日）

3月9日

○ 予算特別委員会（3日）

3月10日

○ 予算特別委員会（4日）

3月14日

○ 経済建設常任委員会

3月15日

○ 民生福祉常任委員会

3月16日

○ 総務文教常任委員会

3月22日

○ 付託された議案・請願の委員長報告・質疑・討論・表決

○ 議員提出議案への質疑・討論・表決

○ 議員提出議案への質疑・討論・表決

総括質疑

施政方針、 ここが聞きたい！

定例会で、市長から平成23年度市政執行についての施政方針がありました。この施政方針に対して、5会派の代表者が質問しました。ここでは内容を要約してお知らせします。

施政方針

みどり市は平成18年3月に新市として誕生し、今年で5年の節目を迎えます。現在も高い失業率と就職難が続いており、平成23年度も依然として厳しい経済状況が予測されますが、新たな企業広告収入として、「公共施設空間の利活用事業」を市長自らのトップセールスにより展開していきます。

主な施策としては、子育て支援や高齢者支援による「安心で安全に暮らせるまちづくり」や大間々給食センターの建設、学校規模適正化に向けた教育環境の整備などの「社会基盤による活力あるまちづくり」に取り組みます。

平成23年度については四つの骨子を基本に予算編成を行いました。

一つめは、『将来にわたり持続可能な健全財政の構築』とし、将来にわたり

持続可能な健全財政の構築を目指す予算を編成しました。

二つめは、『総合計画の推進』とし、行政評価システムのしくみを職員一人ひとりが理解し、このシステムを活用して、各施策、基本事業・事務事業の採択や事業費決定等を行い、総合計画を推進します。

三つめは、『「みどり市」の確立と更なる飛躍』とし、合併後に策定した各種計画に掲げた方針の着実な実践と、市内全域に目を向けた予算編成により、市としての更なる飛躍を図ります。

最後は、『部局の主体性と責任の強化、枠配分による予算編成』とし、各部局長を中心に限られた財源をどのように活かすかなど、主体的かつ自立的に予算編成に取り組み、「枠配分」方式による編成を行いました。

広和クラブ

新井 巖雄 議員

大間々公民館の設置

問 大間々公民館の設置については「厚生会館を公民館に転用できないか」との提案に対して、「社会福祉協議会の事務所があるので対応を検討したい」とのことだった。社協事務所の移転は可能か。

市長 大間々公民館設置は合併以来の課題だ。教育委員会でも検討しているが早期設置には踏み切れない状態だ。大間々町の人たちの意見も聞きながら検討を続けていく。厚生会館を転用



▲大間々厚生会館

することが現実的と考え、社協の移転と公民館への転用についての協議をしたが、社会福祉部門施設の中で平成22年度内に移転先を手配することはできなかった。今後は広く市内施設を対象に、社協との協議を進めていきたい。一刻も早い格差の是正を心がけている。

下水道・浄化槽事業

問 下水道計画区域を見直し、単独浄化槽から合併浄化槽への転換を進めるために、補助率を上げて転換を促進するべきでは。県は平成23年度、浄化槽転換に10万円を補助することだが市の対応は。また転換工事費への利子補給制度も作るべきと思うが。

市長 全体論としては議員の提案に大賛成だ。下水道事業に対する考えはまったく同じだ。下水道計画区域は縮少の方向で見直しを行う。県の補助金はエコ補助金というもののだが、一年限りの時限条例となる。4月から対応できるよう準備を進めるが、その先をどうするのとも見据えて、政策や

総括質疑は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。

財源の裏付けも精査する必要がある。単独槽から合併槽への転換については、なるべく負担を軽くするような政策を考えている。1年限りではなく、5年、10年は続けられるような財源の見つけ方についても指示している。工事費への利子補給制度だが、県のエコ補助金が工事費用にも対応できるため、基本的にはこの制度を活用してほしいと思っている。この制度で転換が進むのなら、本腰を入れて新たな制度や補助金を創設しても対応したい。

原田 好雄 議員 非直営事業に指導監督、 サンレイクも月次報告を

問 行政の非直営化が進む中で、今後どういう点に留意していくか、体育館、文化ホールなど、公社化、事業団化は考えているか。
市長 非直営イコール丸投げとは思っていない。注意をして見守っていく責任がある。法や条例にそって事業の執行状況を検証するとともに、適宜、指導監督を

行っていく。住民ニーズの対応については、事業の中心も検証し、定期的な報告を受けるなかで問題解決や改善点をみつけ、よりよいサービスに心がけていきたい。その結果として地域の活性化や雇用、お客さんに喜んでいただけたらと思う。サンレイクも月次報告を受けて利用状況を把握していく。事業団化の問題にはもう少し検討までに時間を要するとみている。今後の運営については、指定管理者などが視野に入ってくる。
問 教育機関である公民館、図書館、博物館の非直営化は避けるべきと考えるが。
市長 今のところ視野に入っているわけではない。これまで桐生市を中心とする広域圏事業は、不採算、非効率部門をスケールメリットでカバーする側面があった。今後、広域行政として社会的、地理的資源を生かし、新しい時代に向けた戦略はないか。
市長 広域としての活力、魅力をひきだす夢のある話は何だということだが、例

えば、両毛6市の医療圏は県を越えている。現在、足利市に3次医療の超高度医療の日本赤十字病院があり、医療の連携ができることによって市民が適切に診療が受けられる。群馬県を見ると心臓血管センター、がんセンターなど特化した病院が5つ6つある。しかもみどり市に近い所にある。両毛圏の医療がうまく使える所で安心して暮らせると思う。

私の想いは、みどり市を含めた桐生広域を道州制の州都にしたい。能力はあるし、そのぐらいの意気込みでやろうと思っている。

問 東町の振興策として、川場村と世田谷区の交流事業が参考にならないか。

市長 みどり市と交流のある鳩ヶ谷市が10月に川口市と合併する。60万人の政令市ともなる都会にとつてみどり市北部は魅力であろう。引き続きお付き合いして、ようこそみどり市へと売り込んでいきたい。

みどり市新生クラブ

阿左美 守 議員

保育料の公費負担を提案

問 新市としての一体感はいずれにどのようなことを実行してきたか。

市長 時間をさいて、旧町村に出向き行政としての交流を図ってきた。今後は全市の運動会など考えている。

問 交流づくりの提案で大間々祭りに東・笠懸地区にあるおみこしの参加要請を考えたかどうか。

市長 祭りの交流も一つであり、歴史、文化、伝統が凝縮されている。参加をすることでお互い理解が深まって良いことである。

問 平成33年度には普通交付税が一本算定により約10億円の減収になることについて、今後の対応はどうするのか。

市長 毎年5000万円ずつ減らしていく。事業の洗い出しをし、優先順位を明確にして取り組んでいきたい。

問 市の公共施設の土地賃借料は公有化に向けてどの



▲保育所

ように取り組んでいくのか。
市長 公有化は基本であり原理原則を尊重して進めていく。

問 健やかに生きる安心の町、保健医療、福祉分野の充実であると共に子育て支援が必要だ。保育料の無料化を提案したい。

市長 提案としては聞くが、例として子ども手当の額をそっくり国が持てば、みどり市では不公平感のないようにする。1億2000万円だが無理ではないので考えていきたい。

問 現在競艇事業は全面委託で開催している。平成26年度で契約が切れるので、財源確保のため検討委員会を作って万全を期するべき

総括質疑は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。

だ。
市長 今から準備していく知恵を出す場所がたくさんあった方がよい。交渉の窓口は一つでよい。

公明クラブ

宮崎 武 議員

平成23年度重点施策は

問 自主財源の確保について今後のアイデアとは。

市長 行政から発信する時代である。財源を生み出す施策は様々あるが、みどり市にとって有効なものを考えていく。

空きスペースを利用した企業への貸し出しなども有効な手段と考えている。

問 子育て支援や高齢者支援の具体策は何か。

市長 子ども手当や待機児童解消。福祉医療などさらに充実強化していく。高齢者については、18増床する高齢者施設なども含め緊急対応の電話なども充実をする。

問 福祉タクシー券の利用枠を改正することによって電話でバスの重要性が増し

てくる。もっとバス停など増やし高齢者や交通弱者のために対応して欲しい。

市長 バス停などの件は、臨機応変に対応していく。

問 桐生厚生病院への支援については。

市長 今後、同様に行う。広域での核となる施設との認識を持つている。

問 低所得者層への支援策をもっと充実して欲しい。

また、地上デジタル波チューナーなどの貸し出しについても国の対応を市民にも周知できないか。

市長 低所得者支援策は最も重要な施策として対応していく。また、地上デジタル波放送のチューナーについては、「世帯全員が住民税非課税の措置を受けている世帯」に、簡易なチューナー（1台）を無償で給付していく。

至誠クラブ

蓮 孝道 議員

問 「みどり市健康プラン21」計画を推進について具体策は。



▲母子健診

市長 乳幼児対象の任意予防接種の全額公費負担、中学1年生から高校1年生対象の子宮頸がん予防ワクチンの全額公費負担、卒煙教室の継続、歯周疾患検診などを予定している。

問 「地域活動支援センター」の位置づけと「みどり市障がい者相談支援室」におけるこれまでの活動状況と今後の対応を確認する。

市長 日中活動の場として、養護学校卒業生の利用が見込まれ、特に笠懸町で精神障がい者の活動の場が少ないことから、センターの増築を予定している。支援室では、相談業務の他、テーマ別に保護者、障がい者を

交えた勉強会も行っている。

問 特定健診の受診率向上に努めるとあるが、具体策は。

市長 未受診者に対しアンケートを行い、来年度の受診率向上につなげる。またポイントカードを作って、特典の付与なども検討したい。

あかがねクラブ

鍋木 豊 議員

企業広告販売事業

問 公共施設空間を自社の営利目的に利用できるのか。

市長 基本的には企業の営業活動なので自由に使い、アピールしてもらって結構。市民の迷惑にならず、公共の福祉に反しないことが大前提。元気があり、市民の利益に資する企業を応援していく。

企業誘致の推進

問 市の北部の推進は。

市長 環境産業などはいいかと思う。医療・福祉分野の誘致も可能性がある。

持続可能な健全財政の構築

問 市が収入を得ることを考える必要があるのでは。

市長 経費削減だけで財政運営を継続するのは不可能。「入りをきちんと考えていずれも制する」ということになる。選択と集中の思いで予算編成を行った。皮膚感覚・市民感覚で対応していく。

神梅小学校の跡地利用

問 市長の想いは。

市長 神梅地区全体を考えて対応していく。

防災訓練

問 仮称「桐生市・みどり市防災訓練」の両市の隔年実施は。

市長 今後も連携強化が必要。地域将来ビジョンの中で共同の防災訓練も必要になってくる。非常に良い提案だ。

森林保全事業

問 市の主体性を持った取り組みとは。

市長 山を守ることは水を守る。水源を抱えるみどり市は下流に対する責任もある。国・県と連動して実施していく。

予算特別委員会



▲古田島和茂委員長

予算特別委員会は、3月3日に議長を除く21名の議員で設置され、委員長に古田島和茂委員、副委員長に鍋木豊委員を選任し、3月8日・9日・10日の3日間にわたり、議会議場において市長、執行部の出席を求め審査を行った。

平成23年度一般会計予算から水道事業会計までの14議案について慎重に審査し採決した結果、全議案を原案のとおり可決すべきものと決定した。

なお、可決された平成23年度一

般会計予算について、附帯決議案が提出され、採決の結果、全会一致で附帯決議を付することに決定した。

主な審査内容

問 子ども手当は、今国会で法案が未成立の場合、児童手当の復活がある。該当者や金額が変わるが6月支給に間に合うのか。

こども課長 児童手当に戻った場合でも平成23年2・3月分は子ども手当として6月に支給される。児童手当に戻るのは4月から10ヶ月分となる。システム改修も必要となるので500万円計上した。第1回支給に間に合わせるには、4月中に対応しなければならぬ。

問 施設管理室の事業費が予算案に計上されていないが。

市長公室長 各施設にそれぞれ管理費がついており、事業費はそれに対応する。職員が施設管理を担うことで、委託料の削減が図られる。事務分掌については今後明確化する。

総務文教常任委員会

本委員会は、執行部出席のもと3月16日に開催した。

付託された議案

テレビ難視聴対策施設条例

地デジ放送受信困難地域解消のための制定。賛成全員で可決すべきものと決定した。

報酬費用弁償支給条例の一部改正

農林関係と教育関係にそれぞれ農事支部長と文化財専門委員会を設置し報酬を支給するため。賛成全員で可決すべきものと決定した。特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例及び教育委員会教育長の給与・勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部改正

賛成全員で可決すべきものと決定した。

職員の給与に関する条例等の一部改正

国家公務員の病気休暇制度の改正に準じて行うもの。賛成全員で可決すべきものと決定した。

特別会計設置条例の一部改正

老人保健制度が後期高齢者医療制度に移行し、本年3月で特別会計設置の義務がなくなるため。賛

成多数で可決すべきものと決定した。

行政財産使用料条例の一部改正

新たな財源確保と企業PRによる地元振興を図るため。賛成全員で可決すべきものと決定した。

手数料条例の一部改正

銃砲刀剣類所持取締法が、群馬県教育委員会からみどり市教育委員会に委譲されるため。賛成全員で可決すべきものと決定した。

文化財保護条例の一部改正

文化財保護審議会とは、別に文化財専門委員会を新たに設置するための条例改正。賛成全員で可決すべきものと決定した。

財産の無償譲渡

光栄寺（大間々町）から借用しているながめ公園用地について、光栄寺が市に寄附をし、その対価として光栄寺内にある市有地を無償譲渡するとの説明があり。賛成全員で可決すべきものと決定した。

付託された請願

地方選挙における候補者に関する情報の充実等を図るための公職選挙法の改正を求める請願書

まだ検討の必要があるなどの意見があり継続審査と決定した。

民生福祉常任委員会

本委員会は、執行部出席のもと
3月15日に開催した。

付託された議案

障害者自立支援施設条例の廃止

虹の作業所を廃止、移転するために条例を廃止するもの。賛成全員で可決すべきものと決定した。
地域活動支援センターわたらせ条例の廃止

東保健センター内にあったもの



▲地域活動支援センターおおま

を、東支所内に移転するために条例を廃止するもの。賛成全員で可決すべきものを決定した。

指定管理者の指定

4月から事業運営を始める「地域活動支援センターおおま」の指定管理者に虹の作業所第3を運営してきた実績のある「特定非営利活動法人はたおと」を指定するもの。賛成全員で可決すべきものと決定した。

付託された請願

保育所における給食調理の外部搬入を行わないことを求める請願（継続審議）

「3才児以上への外部搬入には5項目の条例があり安全性は確保できる。都会の保育所不足は深刻だ。都会では条件を緩和してでも保育所の確保をとの声もある。みどり市ではすべて園内調理。地方の判断にゆだねるべきだ」また「幼児期の食事は作るにいいや見えることが大切。自園での調理は園児の体調に合わせられる。外部搬入は危険性がある」との意見もあり、採決の結果、賛成少数で不採択とすべきものと決定した。

経済建設常任委員会

本委員会は、執行部出席のもと3月14日に開催した。

付託された議案

小平の里条例

従来の使用料を利用料金に改め、指定管理者の収入にするもの。賛成全員で可決すべきものと決定した。

わらべ工房条例の一部改正

新たに条例に規定するため一部改正を行うもの。賛成全員で可決すべきものと決定した。

黒坂石バンガロー・テント村条例の一部改正

利用料金制により施設管理委託料を削減し、効率的な施設の管理運営を行うもの。賛成全員で可決すべきものと決定した。

渡良瀬川中央地区水管理施設管理協議会の設置に関する協議

農林水産省から管理の委託を受けた水管理施設に係る事務を、関係する9市町により、共同管理及び執行を行うもの。賛成全員で可決すべきものと決定した。

市道の路線廃止



▲小平の里

認定道路となっているが、実態がないため廃止するもの。賛成全員で可決すべきものと決定した。

市道の路線認定

道路敷地の寄付受け入れに伴うものと、一旦廃止した路線を実態に合わせて認定するもの。賛成全員で可決すべきものと決定した。

市政を問う

一般質問

Q 桐生市とみどり市の合併は

A 飛び地は解決すべき問題だ

山口 慶一 議員



問 国道122号線を走っている、桐生市・みどり市の標識が目まぐるしく変わる。ボタンのかけ違いによる飛び地合併の結果だ。両市は切っても切れない関係であり、経済的にも問題があると思われる。まずその解消のために両市連携事業を行っているようだが。

市長公室長 両市連携会議は平成19年2月から関連を

含め47事業にわたり市民サービスや行政サービスに差異がないようにという目的で両市の均衡を図るよう努め効果があったと思う。今年度からは、17の項目について、共同連携市長会議の下部組織として調査研究を進めている。また、共同事業や共同研究によるメリットを発揮し、効率的な行政運営と質の向上を目指していきたい。

問 単刀直入に合併についてどのように考えているか。一部、みどり市民の中には消極的な理由として、桐生市の財政への不安があると言っているようだが。

市長 私は桐生市の財政が悪いと言ったことはない。

他の自治体のことを考える程みどり市が良いとは思っ

Q 安心安全な学校生活の賠償保険は

A 対応できるようにしたい

宮崎 武 議員



問 文字通り明るい街にする努力は。基準を満たしていない場所など市として推進が出来ないか。

ていない。また、飛び地が良いという人はいないと思う。解消すべき問題だ。

問 市長の合併論の中に道州制の問題が出てくるが。

市長 合併は未来や夢を語る。そんなことを一緒にやって築く提案もしてみたい。関西連合や新潟県と新潟市の合併構想など道州制を視野に入れて桐生広域をどうするか、桐生市の未来に対する考えも聞いてみ

総務部長 毎年、防犯灯に対する予算は付けている。行政区長に申請すれば設置ができる。

問 本年も予算を減額した。もっとしっかりした政策として街を明るく出来ないか。

総務部長 新年度当初の区長会議などに再度お願いしたい。

宮崎 先進地に見習い新設の防犯灯にはLEDの使用も要望しておく。

問 通称大田んぼを東西に貫く市道笠懸1298号線についての対策を要望する。死亡事故現場の対策で激突した場合の安全対策として、クッションドラムを17基に増設したが、前に出すぎて右左折時接触する恐れがある。もう一度検討し線形を変えするなどしっかりした対応が出来ないか。

都市建設部長 少し様子を見ながら対応する。

たい。時間がかかるが、政治はそのくらい先を見て布石を打つことが大事であり、実現は割合と早いかもしれない。

その他の質問

○大間々地区の行政区統合の問題について

一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。



杉山 英行 議員

Q 笠懸小学校の分離新設の方針決定は A 分離の方向で進める

問 学校規模の適正化にむけての報告書が提出されてから時間がたっているが、分離新設の決定についてどのようにするのか。

市長 教育委員会の報告書を尊重し進めた。熟慮を重ねた結果、分離の方向で進めたい。

問 事業を進めるうえで、財源検討は。また、予定地の選定の考え方は。

教育部長 他市の例を参考にして、概算で用地費を8億円、建設費を23億円の予定で、31億円を見込み、国の補助金が5億8000万円、残り26億円を学校関係の起債を活用する試算である。今後、プロジェクトチームで検討する。良好な教育環境を子どもたちのためにも早期に進めたい。予定地は白紙だが、机上のシミュレーションはしている。児童数の分布、土地開発の状況、周囲の環境や通学などの検討を行う。用地は物件補償も判断の1つとして、編成して取り組みをする。

問 保護者および関係者の理解対策にどう取り組むのか。

教育部長 市長の答弁をスタートラインとしている。通学区域の設定は難しいが、良好な教育環境を確保することが大切で、早急に手順を検討していきたい。

問 新設校として特色のある学校にするための考えは。

教育長 子どもの育成に市民の理解をいただいて、教育環境が良くなったと納得してもらえらる学校に、知性と豊かな情操で徳性のある子どもに、たくましく生きるため、健康で、体力ある生きる力をつけた育成を基

問 東に向かって車道左側に歩道設置の件はどうなったのか。

都市建設部長 関係者と協議を進めている。

問 西側の2箇所の十字路は事故多発地帯だが信号機の設置を要望する。

都市建設部長 信号機については警察などに要望中。

宮崎 以前にも要望したが、事故を未然に防ぐことが市民の安心安全だ。早期に対応して欲しい。

問 安心安全な学校生活を推進する為に現状の賠償保険ではカバーできない部分

を様々指摘し、新年度から対応できるように要望してきた。たとえば、明らかに生徒同士が被害者、加害者になったケース。校舎内から石を投げて道路を走っている車に当たった場合の対応。保護者会で校舎内の駐車場での接触事故の対応。校舎内で生徒が保護者の車にボールを当て傷つけた場合など。今まで対応が出来なかった部分についてどうなのか。

教育部長 要望のあった補償については、研究した結果対応できるようにしたい。



▲市道笠懸1298号線

補償の内容についてはそれぞれのケースで違ってくるが安心安全な学校生活を送る為の一步前進になったのではないかと思う。

問 本理念に考えている。

問 県道78号線大間々太田線の渋滞解消について、市の具体的な整備計画の有無によって、県の姿勢が異なると思うが、星野物産周辺の整備計画はあるのか。

都市建設部長 県はガソリンスタンドの西方面に向けて歩道を北側に設置する計画はある。

問 諸町地内交差点と岩宿交差点、岩宿駅前の交差点の計画はあるのか。

都市建設部長 県としても交差点の改良計画の順位がある。この計画に組み込みをしていきたい。



▲笠小プレハブ校舎

Q オレオレ詐欺対策は

A 一人で判断せずまず相談

上岡 克己 議員



問 オレオレ詐欺の防止策は。

産業観光部長 金銭を要求するような電話や手紙には、一人で判断せず、家族や周囲の人とよく相談することが大切。おかしいと思ったらすぐ相談して欲しい。

問 市内ではどんな問題が起きているのか。

産業観光部長 振り込め詐欺については知っていたが、まさか自分が被害に遭うとは思っていなかった。後になって、家族に言われてはじめて詐欺だと気付いた例もあり、他人事ではない問題である。

問 「訪問販売お断り」シールの配布について、昨年の本会議で、前向きに検討すると答弁された。その後どうなっているのか。

産業観光部長 消費者庁も、シールは有効な手段であると認めている。市としても、前向きに検討してきた。県もこのようなシールを作成することにしてはいたが、健全な業者の営業妨害にならないかなど反対意見もあり、慎重に取り扱いをしている。市としては、有効であると考えているので、積極的に取り組んでいく。

問 みどり市独自のシールを作ったかどうか。

産業観光部長 県とともに調整して、活性化基金を活用し、シールの作成配布を実行していく。

問 市長は、シールの作成配布をどう考えているのか。
市長 条例の制定とは別に、市民の財産を守るためにも

有効であるので、配布したいと考えている。

Q

自主財源の確保に公共施設空間の活用を

A 空きスペースを貸して企業を応援する

高草木 良江 議員



問 市長施政方針の中に自主財源確保のために、公共施設空間を活用する事業がある。以前、私の一般質

問の中で「庁舎の空きスペースに企業誘致している所もある」といった内容の提案をしたが、その実現に一步近づいたのか。

総務部長 議員の提案の内容も参考に検討している。

問 市長の構想を具体的に聞きたい。

市長 庁舎を中心に市の所有施設の空きスペースを貸して企業を応援する。もちろん、地元の企業にも参加

してもらい、いろいろなものを販売・促進・宣伝をしてほしいと思っている。現在、やりたいという旨の打診を受けている。

問 以前、視聴覚障がい者の情報支援に活字文章読み上げ装置などの整備を要望したが利用状況は。

教育部長 国の補助で導入し、笠懸図書館に活字文章読み上げ装置を1台配置し

振り込め詐欺に注意!!

警察官や金融庁の職員をかたるオレオレ詐欺が多発しています。

キャッシュカードを他人に渡し、暗証番号を教えることは通帳と印鑑を渡すのと同じことです!!

暗証番号を教えてカードを渡すとお金が勝手に下引されます!

暗証番号は本人であることを証明するものです。印鑑と同様に大切なものです。

被害に合わないために

- キャッシュカードの暗証番号は絶対に誰にも教えない。
- キャッシュカードは他人に絶対に渡さない。
- 振り込む前に、警察、金融機関等にまず相談。

ご迷惑防止のため、お声かけをお願いします。

振り込め詐欺被害防止相談電話

027-224-5454

警察本部 警察安全安心推進課 警察

一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。



古田島 和茂 議員

Q 定住促進条例の復活は A 条例は有効な手立てとして検討

問 みどり市を北部と南部に分けた場合、両者の諸問題は真逆の方向である。北部に關し定住促進の施策が求められるが。

市長公室長 人口の不均衡は行政を行なううえでは非効率的である。現況、過疎対策として具体的なものは

ないが、常日頃から検討はしている。空き家バンクの情報は募ってはいるが特効薬とはなっていない。自然の中で対応ができる企業誘致も考えていく。

問 定住促進条例の復活は可能か。

市長公室長 地域限定する

問 高齢者等の買い物弱者支援
日常の買い物に苦労したい。

ている高齢者が増えている。支援策に自治体の補助や公共施設の活用も提言し、様々な取り組みがされている。買い物弱者の支援は、商業振興の上からも福祉の側からも高齢者の見守りと合わせて必要では。

産業観光部長 県でも買い物対策の取り組みを強化するために、来年度から移動販売、宅配サービスの立ち上げ支援として補助金を計上している。商工会など関係機関と協議をし、買い物弱者支援策を検討していきたい。



▲笠懸図書館

その他の質問

○保育ママ（家庭的保育等事業）について
○手話通訳の充実について

には市民の理解も必要で慎重に対応したい。議会とも相談し有効な手立てとして検討していく。

問 定住する雇用の受け皿として、不足する介護施設整備に特化すべきでは。

民生部長 県・市の整備計画、事業計画の中で充分に配慮し、生活圏域として計画に盛り込んでいきたい。

群馬DCについて
問 準備は整ったのか。市民の協力は得られるのか。

産業観光部長 プレDCの中、観光関連44団体で構成されている協議会を設立した。様々な対応はしているが、充分とはいきれない。市民の協力なしでは成功はない。周知に向けて各行政区へ出向きお願いと説明をする。様々な意見をもらい本番に向ける。

問 観光客の見込み数と消費は。

産業観光部長 ながめ公園を中心に多くの観光客は見えてはいるが、さらに10%増を見込む。消費という観点では古代料理を単品化した団体客への対応、あるいは

「大間々街歩き」の中での消費など、食と観光をからませ、おもてなしの心でぞむ。県または桐生市との連携も図っていく。

小水力発電

問 「緑の分権改革」調査事業として、小水力発電事業の着手は。

市長公室長 現段階では可能性を探っている。構築に当たっては国事業であり補助を受ける。環境・教育・観光という観点からも有効利用としたい。



▶ながめ公園

Q 新設校の建設予定地は

A 選定には市民の合意が必要

小内 信一 議員



後に抑えてほしい。

教育部長 市長から分離新設が示されたので、早急に説明会や相談会などの組織を作りたい。

財政課との協議の中で、エコスクールなど、補助金を検討し総事業費を削減したい。児童数の推移については、5年後までの推計では、笠懸小学校は横ばい、市内全体では200人程度減る見込み。

笠懸小学校に通っている

問 笠懸小の分離を決定した。建設予定地や学区区間題など、今後どのような段取りでいくのか。

市長 3・4案のシミュレーションは考えている。昨日、公の場でゴーサインを出したが当然これからだ。第一は児童が学びやすい環境づくりが大切。場所や学区区の選定は市民との合意が必要だ。

問 新設分離で、総事業費31億円とのことだが経費削減の捻出方法と、学校規模と笠懸町の児童数の推移を考えれば、コンパクトな新設校で、事業費を25億円前



▲笠懸小学校

児童数の区別の内訳は、平成20年度統計では5区2人、6区249人、7区316人、8区75人、9区334人、10区129人。

児童数の分析や通学条件を踏まえ、これから学校区を設定したい。

Q

高齢者への肺炎球菌ワクチン接種公費助成は

A 桐生広域での実施を考えたい

椎名 祐司 議員



小学校の英語活動

問 4月1日から小学校5・6年で必修化される英語活動の準備状況は。

教育部長 平成19・20年度、群馬県小学校英語活動モデル拠点校であった大間々南小が作成した年間指導計画や文部科学省より出された「英語ノート」を参考に、各学校独自の年間活動指導計画を作成し、英語活動に取り組んできている。

問 政府の「事業仕分け」によって、「英語ノート」の無償配布が廃止となってしまうが、市内小学校で

の対応は。

教育部長 平成23年度児童分まではこれまで通りに無償配布されるが、平成24年度以降は「デジタル版英語ノート」を活用しての英語活動も考えられる。

文部科学省では新教材作成の意向を示しているの、今後は、文科省や県教委の動向を踏まえ対応を考えていきたい。

問 「英語活動」に力を注

傍聴をお待ちしています

議会では、市の様々な計画はもちろん、市民の皆さんの生活に直結した事柄をも議論されています。市民の皆さんに親しみある議会となるために、大勢の傍聴をお待ちしています。

また、ご意見ご要望もお寄せ下さい。

お問合せ先 みどり市議会事務局 ☎76-1970

会議録をご覧ください

市議会の会議録をインターネットで公開しています。市のホームページ内に掲載していますので、ぜひ一度ご覧ください。



みどりの市役所 大間々庁舎

一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。



鍋木 豊 議員

Q ザクロの栽培で新産業を A 目の付けどころが良い

問 耕作放棄地・有害鳥獣対策としてザクロ栽培に可能性を感じた。市の認識は。
産業観光部長 ザクロは土質を選ばず乾燥にも強い。7m近い高木にもなり、トゲがありイノシシ被害もなく、実が固いことで鳥による被害も受けにくい。

問 市内全域で栽培したら、相当の収穫量が見込まれる。本市のブランドにもなり、新たな産業になる可能性もある。チャレンジする価値はあると思うが。
産業観光部長 目の付けどころが良いと思う。有効な対策の一つの手段になる

のではないかという気がしている。
問 市内の湧水の認識は。
産業観光部長 湧水は何ヶ所も考えられる。飲用水に使えるかどうかは本格的な調査が必要。
問 日光に行くための通過点ではなく、富弘美術館に加え、本市に人を引き寄せる求心力となるような、水とザクロ（果実）をタイアップさせたワイナリーを桐生市黒保根町との共同事業も含め新たな事業として資本投下することも必要ではないか。
市長 地域の特性・気候や風土を活かした産業や特産物は考えるべきだ。ザクロもそのうちの一つに入るかと思う。市そのものを売り込んでいくためには、より多くの販売品、システムが必要。提案やアイデアを聞かせてほしい。



▶ ザクロ

ぐ一方で、本来、日本人としての国語や道徳にこそ更なる力を入れるべきだと思うが。
教育長 コミュニケーション能力をさらに豊かにするために新しく導入されたのが今回の英語活動という領域であるが、国語の指導については一層の工夫を重ねることが大事であると思っている。また、道徳教育の充実についても学校教育活動全体で推進するよう努めていきたい。
高齢者への肺炎球菌ワクチン接種公費助成
問 高齢者への肺炎球菌ワクチン接種に公費助成を行うことでワクチン接種が進み医療費の節減にもなると思われる。高齢者に元気で長生きしていただくための施策の一つとして考えてはどうか。
市長 死亡原因の4番目が肺炎という現状があり、予防接種が肺炎の予防に効果があるといわれている。今後、高齢者の事業を見直す中で新たな財源を生み出し、有効に執行していきたいが、最低でも桐生広域での実施を考えていきたい。

市町村	対象者	助成額	対象者数	接種者数	接種率	開始年度
前橋市	75歳以上	1,000円	36,900人	1,114人	3.0%	22年度～
高崎市	75歳以上	1,000円	40,335人	1,339人	3.3%	22年度～
藤岡市	75歳以上	6,000円	7,889人	2,280人	28.9%	22年度～
富岡市	70歳以上	3,500円	10,000人	600人	6.0%	22年度～
渋川市	75歳以上	1,000円				23年度予定
安中市	75歳以上	1,000円				23年度予定

▲肺炎球菌助成一覧

10歳から14歳の死因の第1位が悪性新生物。市内の子どもの生活習慣病の実態は。
教育部長 市内では小児糖尿病の児童・生徒が4名いる。
鍋木 腸内細菌研究の第一人者、辨野義巳先生や注射も薬も出さない小児科医、真弓定夫先生を平成23年度に是非とも本市に招いて講演を開催し、多くの人に聞いてほしい。
その他の質問
○介護予防への取り組みの状況と効果について
○超高齢化、超少子化対策について
○雇用と地域経済の活性化について

Q 大間々庁舎西側の市道は

A 具体的な方策はない

須藤 健久 議員



いるので、移設整備などを要望する。

都市建設部長 電柱は道路の西側に立っている。移設については、現状を確認してとれる方法を検討する。

問 マイトリー学園（大間々南幼稚園）と大間々南小学校の道路周辺に防犯灯の設置計画は。

総務部長 防犯灯については行政区長の要望により対応している。

問 公共施設（大間々郵便局）の出入り口付近の安全整備は。

都市建設部長 公共施設の入口の開口部に水路の床版があるが現状で対応する。

問 都市計画道路（諸町西通り線）が市道1級20号線と平行して計画されているが、この実現は不可能ではないか。市道1級20号線を拡幅したらどうか。

都市建設部長 都市計画道路は大間々庁舎の西側の高

問 市道1級20号線（大間々庁舎西側の道路）は狭いわりに交通量が多いことから防災性の向上、安全性の確保などが必要だ。
道路幅員の拡幅と、国道353号線との交差点の改良整備は。
都市建設部長 この道路は、有効幅員が4・5mと狭い。沿線には、保育園、商工会、土地改良事務所、大間々庁舎、保健センター、郵便局、幼稚園などが隣立しているが、拡幅等については具体的な方策はない。
問 道路敷や交差点近くの電柱が交通の妨げとなつて

台の土手部分を中心に計画されており、昭和46年に都市計画決定された。実際には手付かずの状況だ。
住宅地を通っている道路であるため拡幅は難しく将来的には、区画整理で取り組んでいく。今後も検討課

題とする。
問 秩序ある都市開発と自然環境の調和がとれたまちづくりを推進するため、用途地域指定の進ちよく状況は。
都市建設部長 平成21年度・22年度に用途地域指定の検討調査業務を行った。
平成22年3月に、みどり市都市計画マスタープランを策定。このマスタープランに基づき用途地域指定の



▲市道1級20号線

作業に入る。
現在、用途地域指定の考え方の検討を行っている。

Q デマンドバス・厚生病院への乗り入れは A 桐生との連携で見直す可能性も

常見 詔子 議員



人。平成22年度3万77人、一日平均98人だ。

問 桐生市への乗り入れがヤオコーまでだが桐生厚生総合病院に行かないのか。

市長公室長 桐生市との連携で見直し改善される可能性もある。

問 桐生のバス代は200円、みどり市は300円と400円だ。200円に統一してはどうか。

市長公室長 赤字を出さな

い方向での料金。受益者負担を考えると慎重にしたい。

問 平成23年度から福祉タクシー券が交付されなくなった人への対応として、割引券などの発行の考えは。

市長公室長 公共交通と福祉タクシーは基本的に違うので考えていない。

高すぎる国保税

問 国保の資格者証、短期保険証の発行状況は。

民生部長 資格者証176

問 デマンドバスの利用状況は。
市長公室長 平成21年度2万9544人、一日平均81

一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。



荻野 忠 議員

Q 報酬をカットする条例化は A 議会の同意が必要

問 持続可能な都市づくりを目指すと言うが、主眼は何か。

総務部長 合併特例後に普通交付税が、10億円減額されるので、徹底した経費削減をして健全財政を目指すしていく。

問 これ以上の経常収支比

率の悪化は許されないが。

総務部長 平成21年度は94・8%だ。さらに悪化しないように注意していききたい。

問 95%から100%はレッドゾーンと見ている。100%以上のところは、首長の政策能力がないと思う。

95%以上の悪化には責任を取る必要があると考える。

市長 議員などの報酬をカットする気構えが欲しいと思うが。条例化は。

市長 報酬カットの条例制定は提案できるが、議会の同意が必要だ。技術的には可能だ。議員については、ここで発言すべきでないと思う。

問 国土調査に着手するが大間々町の複雑な地番だが、これを機会に新地番表示に取り組めないか。

総務部長 ある程度事業が進めば、出来ると思うが、現状では難しい。

問 市内事業者の景気対策は。

市長 すべての市民にとって元氣の出るような政策を取っていききたい。

問 市内の内需振興という観点では、市内の事業者になるべく発注すべきでは。

市長 市内業者への発注は心がけて



▲わたらせ渓谷鐵道 大間々駅

世帯、短期保険証628世帯だ。

問 加入世帯の年間所得は。

民生部長 国保税算出にかかる所得ゼロ世帯は2119世帯、200万円以下は4429世帯、300万円以下979世帯だ。全体の87・9%が300万円以下の世帯になる。

問 平成18年から平成20年にかけて国保事業への国の調整交付金の過小交付の内容は。

民生部長 国の入力ミスによる過小交付と聞いている。

問 福岡市で3回目の国保

税の引き下げをする。栃木市では一世帯平均9300円を引き下げる。群馬県富岡市は一律10%を引き下げる方針だ。みどり市でも引き下げてほしい。

平成21年度決算では、法定繰入金以上の2億512万円も一般会計に戻している。過小交付の金額も含めると2億1525万円も国保会計分が減少になっているが。

市長 富岡市で10%引き下げるこ



とは知っている。低負担、高福祉ができればこんないいことはない。国保税を引き下げる考えはない。一般会計に戻したことはまずいとは考えていない。

その他の質問

○笠懸小学校の分離・新設の決断は

いる。公正な入札制度については改革していく。

問 わたらせ渓谷鐵道の経営だが、今まで会社の経営計画が非常に悪かった。これ以上、鉄道事業の赤字拡大は危険ではないか。

市長公室長 平成26年度までの長期計画で数字を明確にし、経営改善計画が出されている。公共交通だから何でもゆるめられるとは思っていない。

Q ゴミ減量化の取り組み

A みどり市・桐生市連携で成果を

伊藤 正雄 議員



問 清掃センターのゴミ搬入量の年度別推移は。

民生部長 平成18年度は9万6974t。平成21年度は8万4444tと減っている。これは不況により企業が出す量が減ったことが要因だ。

問 出雲市のゴミ減量化の取り組みは、①リサイクルへの挑戦。②過剰包装自粛キャンペーン。このキャンペーンは商工会議所を通して「ムダな包装はやめよう」との趣旨に賛同する協力店にステッカーを貼って運動を盛り上げ、その結果、ゴミ減量化の成果となった。

みどり市・桐生市連携事業に取り上げてはどうか。店のコストが下がり、市民も安く買える。さらにゴミ減量化に役立てば市も助かるので是非取り上げてほしい。

市長 私も幾つかの店ではレジ袋を使わないことを実践していて、その分を還元してくれる店もある。桐生市でも過剰包装自粛に取り組んでいる店があり、機会をみて検討したい。

問 出雲市は「ゴミ有料化」に踏みきった。年間100袋まで市が無料配布する。ただし、100袋に満たない場合は余った分を1袋40円で市が報奨金として買い取る。100袋を超えた分は1袋40円で買い取ってもらう。結果として全体で30%の減量化に成功したという。

民生部長 大変よい提案だ。検討してみたい。

問 市役所から出る重要書

類は裁断処理し、燃やしているが、多くの会社はセキユリティBOXを設け専門業者に委託して、溶解処理し再生している。出る量が多い行政は検討するべきだ。

市長 費用がかかる部分が

生じるかもしれないが、そういう問題ではない。市の出すゴミの量は多い。セキユリティも考え、環境問題でもあり桐生市とも連携し検討してみたい。



▲桐生市清掃センター

Q 教育とは何か

A 生きるうえで心の支え

新井 巖雄 議員



問 教育とは何か。教育長に就任しての思いは。

教育長 教育とは「生きるうえで心の支え」。幼い

子どもたちの心をたくましく育てたい。みどり市の大切な文化や自然を引き継ぎ守って行くという気概を持った子どもたちを育てたい。

問 「市民の一体感の醸成」というが、5年や10年できるものではない。今の子どもたちが同じ市民だ

という一体感意識を育てる教育をして欲しいと思うが。

教育部長 将来のみどり市

を担い、世界にはばたく子どもたちに「みどり市民であり、郷土はみどり市だ」という一体感意識を根付かせるには、学校教育が大きな位置を占める。総合学習や体験学習を通じ、郷土のみどり市への興味や知識を持たせる教育活動を行っている。

問 財政難を理由に公民館に指定管理者制度を導入する自治体もあるようだ。み

一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。



大澤 映男 議員

Q グラウンドゴルフ場を専用に使えないか A 見通しを持ちつつ進めたい

問 笠懸町のグラウンドゴルフ場の一部と文化ホール（パル）の駐車場が共有されていると聞か、優先権は。

教育長 パルの利用とセットと考えている。一般的にはパルに近い所から駐車されている。南側駐車場はグ

ラウンドゴルフ、パル、公民館の三者が融通し合い駐車場を使用してもらっている。

問 共用の部分、ゴルフ場Cコースを駐車場として使用した場合の整備はどうしているか。

教育部長 平成19年3月の

どり市の考え方は。

教育部長 現在、そのような論議はされていない。ただ指定管理者制度については、民間の発想力、行動力を活用するという制度の理念が生かされ、成功しているという例が皆無ではないと思う。急速に厳しさを増すことが確実視されている市の財政を前に、公民館という施設の持続をいかに図っていくかを考える時、頭からこういった検討を排除するべきではないとの思

校だ。経費節減の名目で職員数の削減を行わないこと。また、有資格職員の適正な配置に留意して欲しいが。

教育部長 できるだけ要望に沿いたいとの考えを基本として、新たな職員の配置が難しい状況にある。いろいろな方法を検討し、グレードを落とさないで公民館を維持できればと考えている。

問 社会教育は学校教育とならば市民教育の場だ。財政問題もあるが市民の心を育てる社会教育には十分に留意してほしいが。



▲笠懸公民館（大掃除）

市長 今の意見に異論はない。最善を尽くし人事や環境づくりをしているが、結果についての評価は責任者として甘んじて受ける。

検討委員会で、日常的な整地はグラウンドゴルフの利用団体が行う。ただし、特別な要因については、市と協議して決めるとなっている。

問 過日のコンサート、生活発表会、演奏会と3つの行事があった時に、駐車場の共有部分を空け、プレイを楽しんだが、結果的には舗装の駐車場にも空きがあったが。

教育部長 パルを貸し切りにする時は、契約とセットとしているので優先させて頂きたい。今後は担当や事務局の「使われ方の情報交換」も必要だと思う。

問 これからシーズンになると年間4万人近くの人々がグラウンドゴルフを楽しむことになるが、そろそろ完全な専用グラウンドゴルフ場にする考えはないのか。大きな行事があるときのみ共用や、社会体育館の駐車場を夜間のみ借りるという方法もあるのでは。

教育長 専用になるかどうかは見通しを持ちつつ進めたいと思うが、今すぐには



▲グラウンドゴルフ

明言できない。

教育部長 あの一帯の駐車場に関しては、将来、消防団の訓練施設も兼ねてかなりの台数の駐車スペースが整備されるとも聞くので、体育館と駐車場が共用でき、ある程度の融通が利くかと思う。また個別にも駐車場の確保という話も出てきているので、努力を始めていくところだ。

大澤 利用者がせっかく、きれいに整備し使用しているので、パルの駐車場から利用し始め、最後に共用部分に駐車するという方向で約束してほしい。



笠懸町
内池 福二

市議会議員の仕事とは

私は、桐生市から転居し笠懸に来て約20年。常々思うみどり市議会議員の仕事とは何か、一市民の目線でお話いたします。

「市民の声を行政に反映する」「市民の良き相談相手になる」「他市との均衡を図り市民生活の充実を推進する」、数え上げればきりがありません。

そんな仕事の中でも3月11日に起こった大震災に市民の声を聞きながらその声を市政に反映した議員がどれだけいたのか。4月には統一選があり、新たな20名の市議が誕生するわけですが、一人でも多くの議員に市民の声の代弁者になっていただきたい思います。



東 町
渡辺 好恵

今、思うこと

私は東町で旅館を営んでいます。早いもので嫁いで25年になる東町は年々人口も減り高齢者のみで暮らす家庭も多くなりさびしいことです。そんな状況ですが仕事柄、外から見る東町の良さをうかがう機会も多くあります。確かに周りを見れば季節毎に表情を変える木々達、美しい星空、山菜

やきのこなどの山の恵みは、本当に素晴らしいものです。その中で暮らしていると気づかないのも現実ですが、たまにはゆっくり周りを見直し、知ることも大事です。このすばらしい環境の中で生活していることを誇りに思い、自信を持って次世代の子どもたちに伝えて欲しいと思います。

私は東町で旅館を営んでいます。今回の大地震で被災され、みどり市に避難した方々にお会いしました。その内の一人の方は20mに迫る津波に全てをのみ込まれ15時間かけて笠懸庁舎に助けを求めたそうです。一時の住処として、「まごころ」に入所しました。そこはお風呂もあり、床暖房も完備されていました。不安な日々を送っている皆さんに、ホッとしていただける場所を提供して下さったのは本当に良かったと思います。



大間々町
新井みゆき

大震災に思う

今回の大地震で被災され、みどり市に避難した方々にお会いしました。その内の一人の方は20mに迫る津波に全てをのみ込まれ15時間かけて笠懸庁舎に助けを求めたそうです。一時の住処として、「まごころ」に入所しました。そこはお風呂もあり、床暖房も完備されていました。不安な日々を送っている皆さんに、ホッとしていただける場所を提供して下さったのは本当に良かったと思います。

全国的に募金活動等が始まっていますが、今必要なものがあるはずで、煩雑な手続きを踏まえていると時間がかかります。突発的な有事は、スピードがある対応を望みます。

全国的に募金活動等が始まっていますが、今必要なものがあるはずで、煩雑な手続きを踏まえていると時間がかかります。突発的な有事は、スピードがある対応を望みます。

編集後記

東日本大震災により尊い命を失われた方々のご冥福を祈るとともに、多くの被災者へのお見舞い、被災地の一日も早い復興をご祈念申し上げます。

或る書道家が今を「日本一心」と書き表しました。心を一つにすることこそ、今の日本に必要とされることだと思います。

将来を見据えた時、今を生きる私たちの行く手に見えてくるものは希望や期待よりも「不安」かも知れません。

みどり市が誕生して5年。新田・山田・勢多の3つの郡、町村による平成の大合併は、山積した様々な課題を抱えてのスタートでした。一体感の醸成に長い時間と多くのエネルギーを必要とし、一つひとつが解決しつつも、未だ多くの問題が解決の時を待っています。これからも、みどり市

編集委員

委員長	宮崎 武
副委員長	蓮 孝道
委員	上岡 克己
山口 慶一	
常見 詔子	
新井 巖雄	
小内 信一	
鍋木 豊	

次回定例会(予定)

6月6日(月)から
午前9:30~

皆さんの傍聴をお待ちしています。
問い合わせ ☎76-1970

議会だよりはは議会の内容や議員の活動を市民の皆さまに分かりやすく報告し、市民の目線に立って読まれる紙面づくりに努力精進していかねばなりません。(鍋木 豊)